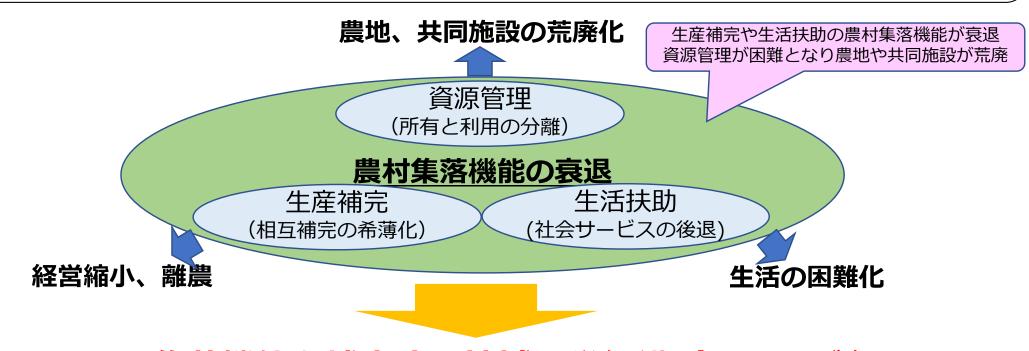
農村地域での集落機能の低下と地域運営組織の必要性

- 中山間地域では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源(農地・水路) 等)の保全や生活(買い物・子育て)など集落維持に必要な機能が弱体化。
- 農家、非農家が一体となり、生産、生活扶助、資源管理に取り組むことで、地域コミュニティの機能 を維持・強化することが必要。



3つの集落機能を補完する地域運営組織(RMO)が必要

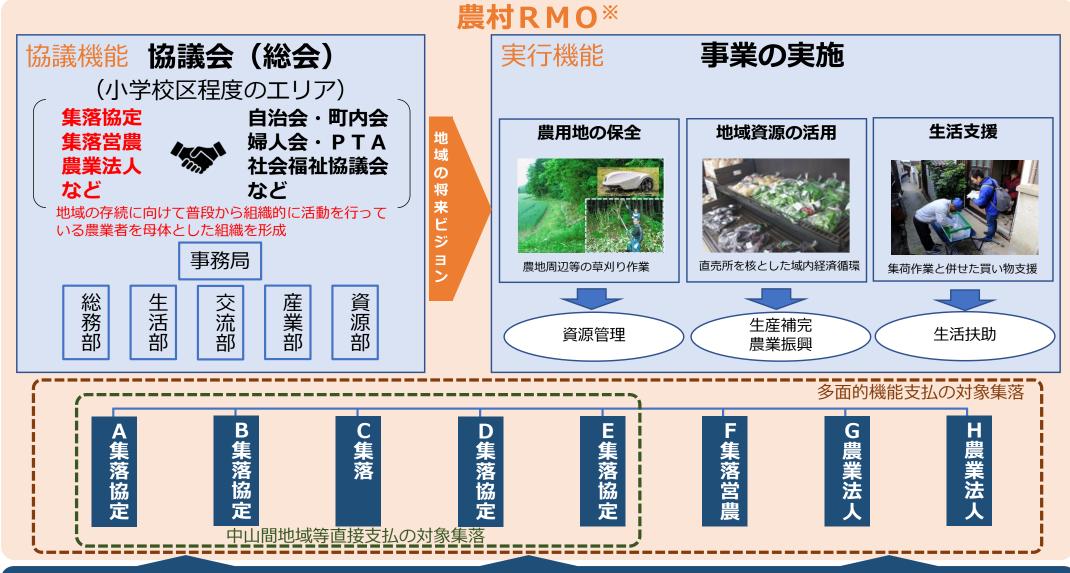
地域運営組織とは、地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、 地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、 地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織。

RMO: Region Management Organizationの略

(例)○○まちづくり協議会、○○地域づくり協議会、○○地域協議会、○○地域運営協議会

中山間地域の保全のための農村型地域運営組織(農村RMO)のイメージ

複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の 関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基本となる農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の 生活支援に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき各事業を実施。



中山間地域等直接支払、多面的機能支払による共同活動、組織的活動の下地

※ 地域運営組織が展開する活動は多種多様であり、法人格を持たない任意団体(自治会・町内会、自治会等の連合組織など)をはじめ、NPO法人、 認可地縁団体、一般社団法人、株式会社、合同会社など多様な法人制度を活用。

_{農山漁村振興交付金(中山間地農業推進対策)のうち} 農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業 〜地域で支え合うむらづくりの推進〜 【令和4年度予算概算決定額 9,752(9,805)百万円の内数】

<対策のポイント>

中山間地域において、複数の農村集落の機能を補完する「農村型地域運営組織(農村RMO)」の形成により地域で支え合うむらづくりを推進するため、 農村RMOを目指してむらづくり協議会等が行う実証事業等の取組や協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組に対する支援を実施します。

<事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織(100地区「令和8年度まで」)

<事業の内容>

1. 農村RMOモデル形成支援

地域協議会等が作成する**将来ビジョンに基づく**農用地保全、地域資源活用、生活支援にかかる**調査、計画作成、実証事業**等の取組を支援します。

【事業期間:上限3年間、交付率:定額】

2. 農村RMO伴走支援体制の構築

農村RMO形成を効率的に進めるため、中間支援組織の育成等を通じた都道府県単位における伴走支援体制の構築や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う全国プラットフォームの整備に対して支援します。

農村型地域運営組織(農村RMO: Region Management Organization) 複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

※下線部は拡充内容

<事業の流れ>



<事業イメージ>

農村型地域運営組織(農村RMO)のイメージ

○ むらづくり協議会 自治会・町内会 婦人会・PTA 婦人会・PTA 社会福祉協議会など をど 生 務。 部

- ●複数の集落による集落協定等と自治会など多様な地域の関係者が連携して協議会を設立
- ●地域の話合いにより、農用地の保全、地域資源の活用 農村の生活支援に係る**将来ビジョンの策定**

農用地の保全、農業生産 落 B集落 C集落 D集落 E集落 F集落 「↓】【集落】 「集落】 「集落】 「農業】

 (集落)
 (集落)
 (集落)
 (集落)
 (集落)
 (集落)
 (集落)
 (集落)
 (豊)

 (協定)
 (協定)
 (財産)
 (財産)

農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業

農村RMOモデル形成支援

【支援対象】

- ·調查·分析
- •計画作成
- ·実証事業等

【事業対象分野】

地域資源活用

生活支援



農用地保全

カ・林地の草刈り作業 直売所を核とした域内経済循環

循環 集荷作業と併せた買い物支援

農村RMO伴走支援体制の構築

